



Discover a New  
World of Service

見つけよう  
奉仕の新生面



会長 川村徳男 幹事 迎田 稔 クラブ奉仕 山口篤之助 職業奉仕 佐藤 忠 社会奉仕 吉野 勲 国際奉仕 新穂光一郎 青少年奉仕 藤川享庸

出席報告：会員 73 名 出席 60 名 出席率 82.19% 前回出席率 85.14% 修正出席 64 名 確定出席率 86.49%

## 四つのテスト

- ㊦ 真実かどうか？
- ㊧ 好意と友情を深めるか？
- ㊨ みんなに公平か？
- ㊩ みんなのためになるかどうか？

### 会 長 報 告

川村徳男君

明けましておめでとうございます。

今年もどうぞ公私ともによりしく願いを申し上げます。

昭和も60年という長い御世になりましたが、大へんおめでたいことです。我が国に年号がはじまったのは第36代の孝徳天皇の「大化」のようですが、ご承知のように明治天皇の時に一世一元と決められるまでは、後醍醐天皇、後花園天皇の8回を始めとして、一代の天皇で何回か年号を変えられたようで、明治天皇の直前の孝明天皇は6回改元しておられます。大地震や飢饉、疫病の発生のときの改元は国内の気分を一新し、世直しをしようという願いがこめられていたものと思います。

いつの時代も国の政治を行なう人たちは、その時代にあった住み良い社会づくりに懸命だったのでしょう。現代国家では国際的な作用が大きく働いて世界的な不況の中で一国だけが良くなるということは在り得ないわけですが、それにしても景気上昇が言われて久しいけれども、私どもにはまだそれが感じられないのは、地域格差のせいでしょうか。昭和60年代のうちに、できれば67国体の頃までには庄内空港の開港と横断自動車道酒田線的全線開通によって地域格差を縮めたいと望んでやまないわけで、加藤國務大臣ならきつとやってくれるものと思いますし、60年代はきつと良い10年になるよう期待をいたします。

#### ○理事会の報告

(1) 12月4日の理事会で、年度途中の入会者の会

費の金額が議題となり、特に会員増強の観点から、入会月からの月割とすることにし、本年度当初に遡って実施することになりました。また入会金については本日の理事会の決定で、本年7月1日に初まる年度から20,000円にすることになりました。この決定に伴って、クラブ細則をお手元に配付した改正案のように改正することについて、1月29日の例会で賛否語りしたいと思いますので、よろしくお願い致します。

#### (2) 交換学生の推せんについて

鶴岡北高1年生の伊藤久美さん(住所=鶴岡市大字覚岸寺、父は酒田市の日本ハムに勤務)から希望があり、推せんすることにしました。なお今回はアメリカ留学です。

#### (3) 交換学生の受入れについて

本年度、地区から受入れの話があった場合は受入れることにします。これもアメリカです。

#### (4) 12月25日の例会のあとで臨時の理事会を開き

1月25日から予定しておりました台中港区R.C.の訪問を中止することにしました。理由は、私が先般来胃に痛みを感じて医師の治療を受けておりましたが、海外旅行はやめた方がよいと言われ、無理をして行って台湾の人たちや同行の人に迷惑をかけても悪いということで、会長の行かない訪問では失礼になるので、残念乍ら取りやめることになりました。台中港区R.C.の皆さんにも、会員の皆さんにも大変ご迷惑をかけて申し訳ありませんが、何卒ご諒承下さい。

#### (5) 塚原さんが捻挫でギブスをはめられ、三週間ほど例会に出席できないということで賜暇願が

庄内空港の建設を推進しましょう

出ておりますが、承認することにしました。

○次の例会までの行事

(1) 来週の火曜日は1月15日で成人の日に当たりますので例会はありません。従って次の例会は22日で、時間変更でたら汁会になります。前にご報告したように、パストガバナー、ガバナーがご夫婦でおいでになりますので、会員の皆さんもぜひ奥様ともどもご出席されますようお願いいたします。

また、22日はクラブ協議会を予定しておりますので、委員長か代理の方ご出席下さい。

前後しますが、19日(土)は地区の会員増強拡大セミナーが山形で開催され、各クラブの会長が招集されております

20日は日曜日ですので、教育110番は21日の月曜日になります。よろしくお願ひします。  
なお、大晦日にNHKで1年の回顧の中で教育110番を再放映して下さいと、感謝いたします。

○一般の行事

11日は鏡開き。14日は門松やメ飾りをとりはずして、形の上でも正月は終わりました。

15日は成人の日、やぶ入りで、年賀はがきの抽選会が行なわれます。

20日は大寒です。この冬は暮れから、まるで寒に入ったようなお天気でしたが、これから本格的な厳しい季節になります。どちらさまも健康には充分気をつけて下さい。

幹 事 報 告

迎 田 稔 君

○回覧 鹿児島西R.C.会報

年賀状

○例会変更

余目R.C. 1月11日を1月13日  
午後6時30分 余目商工会館

酒田東R.C. 1月17日 例会終了後新年会  
例 会 午後5時30分  
新年会 午後6時30分 香梅咲

会 員 ス ピ ー チ

年 男 の 挨拶

石 黒 慶之助 君



今年<sup>キトウシ</sup>は乙<sup>キ</sup>丑<sup>ウ</sup>の年であり  
ます。日本では随分昔から  
十<sup>キ</sup>干<sup>ネ</sup>(甲<sup>キ</sup>乙<sup>ウ</sup>丙<sup>ヘ</sup>丁<sup>ニ</sup>戊<sup>ツ</sup>己<sup>ネ</sup>庚<sup>カ</sup>辛<sup>ノ</sup>壬<sup>ミ</sup>癸<sup>ツ</sup>)と  
十二支(子<sup>ツ</sup>丑<sup>カ</sup>寅<sup>ノ</sup>卯<sup>ミ</sup>辰<sup>ツ</sup>巳<sup>ネ</sup>午<sup>カ</sup>未<sup>ノ</sup>申<sup>ミ</sup>酉<sup>ツ</sup>戌<sup>カ</sup>亥<sup>ノ</sup>)の  
組合せで60年で一回転する  
めぐり合せによる暦を使っております。

私は、丑を6度び迎えた年男であります。長い間悪戦苦闘し、鈍才に鞭打って、失敗や間違いを繰り返し、事故や病を乗り越えて、よくぞここまでやってきたものと驚いております。

出羽三山では丑年を御縁年としており、この年にお参りすれば1回で12回分のご利益があると申されております。私は母の実家が羽黒山山麓にあり、ここで誕生し、月山から流れてくる笹川の水で産湯を使い、初詣りは羽黒山へ参ったそうです。従って出羽三山のご加護により、72回目の新年を迎えさせて

いただいたものと思います。

年末には楽しいことが沢山ありました。その中で最も嬉しかったのは、私共がお世話した交換学生や米山奨学生からのお手紙であります。皆様ご存知のダイアン・シュルツ(アメリカ)は、アメリカの大学を卒業してサウジアラビアの大学で活躍しており、ジイム・グリフィッツ君(オーストリア)は日本語で「あけましておめでとう」と賀状を下さいました。更に米山奨学生だった蔡君の奥様からも親切なお便りをいただきました。正月になったら蔡度隆君から昨年12月1日から京都大学へ研修員として来日、3月には博士コースを受験し勉強したい由お手紙ありました。エテバリ・エスマイル君は日本語で長文の手紙を下さいました。一昨年結婚し、2才になる子どもと共に家族円満、戦争に巻き込まれずにイランシルク会社に勤務しております。そして私共夫婦に遊びに来よう求めてきました。人の情は国境を越えても生きておることをしみじみと味合っております。

さて、新年に当って抱負ですが、余命いくばくもない私にとっても明日がありますので、日々は好日

と考へ、天命の許す限り、ひたすら奉仕の理想を深めて参りたいつもりであります。皆様のお世話になるばかりですが、今年もよろしくご厚誼賜りますようお願いいたします。

## 秋 野 忠 君



今年で自分の4回目の千支を迎えたのですが、年男という意識を持った事は一度もありませんでした。改めて抱負もないのですが、十二支という古来的なものに少々興味を引かれました。「丑」は十二支の第二番目で、動物では「牛」をあて

ます。「丑」は、草木も寝る「丑三つ刻」とか、鬼門を差す「丑寅」の方角とか、又は、ことわざにある「牛の耳に経」「牛を馬に乗りかえる」「牛は牛連れ馬は馬連れ」と、あまり良い意味のものがありません。鈍牛だの、猛牛だのとなれば事言うまでもありません。しかし、これはあくまでも世の全ての丑年に生を受けた方ではなく、私見である事を申し添えたいと思います。ましてや石黒先生や高田さんの「丑・牛」は賢人を乗せた丑・牛である事は間違いありません。十二支にはご存知の通り、「子」・「丑」・「寅」・「卯」・「辰」・「巳」・「午」・「未」・「申」・「酉」・「戌」・「亥」とあって、それぞれ時刻や方位を表わし、又暦で「十干」と組合せて時日を表わすのに使われております。それはそれで日頃の生活の智恵みいたなものとして、慶事や不祝儀に應用されていますが、ここで一つ素朴な疑問に当るのです。それは十二支を動物にあてますと、十二匹の動物となるのですが、第五番目の「壬辰」はどのように思考しても実存しない動物(?)であります。

(辰年の方に決して他意を含みませんので誤解なされないで下さい。) お釈迦様がその順序から動物の選別迄なされたものと聞いておるのですが、その辺のところ解らないのです。「タツ」を入れなくとも他に実存する動物が沢山いるはずなのですが、こんな事を申し上げたらお釈迦様の「バチ」が当たると思うのですが……。年初めから大変不調法な事を申し上げましたが、会員の皆様方の中に、その辺の事情をご存知の方が居られましたらお教え願ひ度いと思ひます。いかようにしても丑は牛であります。マ

イペースで、じっくりと牛歩でまいりたいと思ひます。今年もよろしくご指導の程お願い致します。

## 高 田 耕 助 君



明けまして御芽出度う御座居ます。

昨年暮の創立40周年記念の中期国債ファンド大キャンペーンにはロータリーの皆さんからも多大の御力添えを戴き大変有難う御座居ました。御蔭様で大変好調な成績で終る事が出来ました。これも一重にロータリーの皆さんの御友情の賜と深く感謝申し上げます。

社史を繙いていましたところ、ロータリーの職業奉仕、思想の根幹に拘ると思われる、当社の前進和島債券部発行の債券月報第一号昭和3年4月11日付が目止まりましたので御披露申し上げます。

その中で当社創立者と和島茂兵衛氏は商売は奉仕なりと記しております。

### 創 刊 の 辞

私は斯く信ずる。「人間は生れながらにして社会的動物である」と、故に富めるも貧しきも社会人として自己の全能力を發揮して働く事に依り社会への責務を果し一面又人間的矜を覇持したいと心得ます。武陵桃源を夢みしこの地庄内にさへも小作争議等の頻発するにつけても一層この感を深くします。又思ふ。円満なる社会への建設には結局勤勉と貯蓄あるのみであると、一家にしろ一國にしろ同様です。不況は益々深刻、国債は六十億万円に垂んとして居る。汝日本何処かへ行くと叫び度くなる、誠に心すべき時です。人心は浮薄混沌、財界は萎靡低迷の今日債券熱の向上こそ一家の繁榮、国家隆盛の基なる事を痛感します。由来債券は安全有利興味深々然も国家的なる貯蓄の上々のものなるに拘らず当地には完全なる機関店もなければその真価を理解する人々も稀にして兎角外来のいかさまものに傷けられて居りました。昨年四月乃公出ですんばの意気を以て斯業を初めて以来大方諸彦の絶大なる御後援に預り予想以上に働き甲斐のある事を悦んで居ります。益々感激して愛

券家各位の好同伴となり善良なる機関となり又債券真価普及の一助にもと月報を発行する事にいたします。飽くまでも「商売ハ奉仕ナリ」のスローガンを遵奉して斯業に精進努力いたし度いと存じます。

何卒益々御指導御後援の程願ひ上げます。  
蕪辞を述べて創刊の辞といたします。

年頭に当りここまで私を育ててくれたお客様並びに地域社会に対し微力ながら何かお返しする方法がないものかと考えています。結局は仕事を通じて努力するしかない様にも思います。

昭和60年乙丑切り良いスタートで、私も会社勤めとしては最後の一回り12年間になるかもしれませんので、有意義な牛年にしたいと思います。牛の様なとえ鈍重でも牛も千里、馬も千里と申しますから、着実に一步一步、歩いていきたい。時には闘牛の様にながむしゃらに突き進む事があっても。

乙は草木芽生えとして尚屈曲する形

丑は初めて事を挙げる事を為さんとする形とあり、この地域庄内地方でも庄内空港にとって最も重要な年であり、我が業界でも牛年はブルの年、強気の象徴ですが、森羅万象総てを写す鏡である株式市場に於いてはどんな年であろうか。米ソのデタント気運、ドル高・円安、米国の双子の赤字、貿易摩擦、ディスインフレーション、デレギュレーション等、そして電々公社民営化による株式の公開、どんな値段が付くでしょうか。東証の機械化と金融革命の大波が押し寄せてきます。只、個人金融資産の増大傾向からみて個人、企業、年金等の運用の場として重要性は益々増してくる事は確かな様ですので、地域社会のために青春の気概をもって対処して行きたい。

今年もどうぞ宜しくお願い致します。

### 親睦活動委員会

会員誕生

板垣俊次君・三井健君  
玉城俊一君・忠鉢徹君  
吉野勲君

奥様誕生

川村友子様・庄司志津子様  
鈴木勝(茂男)様  
津田満里子様

### 出席委員会

○年間皆出席

25年間皆出席 張紹淵君  
24 〃 嶺岸光吉君  
5 〃 阿蘇司朗君



○12月100%出席 55名

秋野・阿蘇・張・藤川・福島・早坂・飯白・石井・石川・石黒・板垣(俊)・市川・飯野・川村・黒谷・小松(広)・今村・小松(三)・工藤・加藤・塚原・忠鉢・三井(賢)・三井(健)・嶺岸・迎田・松田(貞)・松田(士)・中江・中田・斎藤(隆)・佐藤(忠)・佐藤(順)・佐藤(衛)・佐藤(友)・佐藤(元)・新穂・菅原・鈴木(善)・鈴木(弥)・佐藤(英)・佐々木・斎藤(昭)・白坂・高橋(良)・丹下・手塚(林)・富樫・上野・内山・渡部・若生・山口・吉野・皆川

### スマイル

川村徳男君 NHKで教育110番再放映に感謝して。  
三井徹君 車がスリップして板垣さんより助けられた。  
布施隆夫君 12月30日東京に行く途中、大雪のため列車がおくれ特急料金払い戻しのため。

### ビジター

鶴岡西R.C. 加藤有倫君・中村紘君  
菅原年雄君・菅原幸雄君  
斎藤健治君・長野正彦君  
鈴木昭吾君・井上彬君  
(今週の担当者 斎藤 昭)